

昭島市の魅力を伝えよう!!

～聖徳学園のSTEAM教育と昭島市の人口問題について～

松尾 桜歌*1・佐々木 麻衣*1
指導教員：山名 和樹*2・三岡 恵子*2
Email：k_yamana@shotoku.ed.jp

*1：東京都 聖徳学園中学高等学校

*2：東京都 聖徳学園中学高徳学校

◎Key Words STEAM、昭島市、人口問題、ユネスコ

1. はじめに

聖徳学園中学校では特色ある教育の一環としてSTEAMという授業を行っている。中学3年生のSTEAMでは地域問題をテーマに、グループで取り組みたい地域問題について話し合い、解決のための行動を起こす。その授業の中で私たちの班は昭島市の人口問題に着目した。

なぜ昭島市かというインターネットで調べたところ、観光地としての見どころが多く、とても良い市なのに知名度が低いと、人口が少ない。知名度という部分に関して中学生の私たちにも何かできることがあると考え、この班の対象地域とした。

2. STEAMとは

聖徳学園中学校では総合的な学習の時間をSTEAMと呼んでいる。聖徳学園のSTEAM教育とはS=Science T=Technology E=Engineering A=Aets M=Mathematicsを表しており、生徒と教員が近い距離感で意見を交わすことを重んじている。これにより、学力だけではなく、多様な学びの機会を体験することができるという狙いがある。

中学3年生の私たちのSTEAMでは授業内で地域貢献プロジェクトという自分達が住む地域をより良い場所にするために自分達で何が出来るかを考え行動するというテーマであった。

学期が始まると、クラス全員が自分が解決に組みたい地域問題を各自で調べる。学校後半では自分らが発見した問題とその解決策をクラス内で発表することとなる。全員の発表が終わると、クラス内で投票し、その結果選ばれた企画を実施するという流れとなる。企画者は自らの企画を放棄することができるルールであり、私たちが参加した企画の立案者は他班に移ってしまった。当初の企画では西東京市の人口問題について調べる予定だ

ったが立案者が違うグループに移動してしまったため、グループ内の住んでいる地域の人口問題について再度調べ上げたところ、昭島市にたどり着いたのである。



図1 聖徳学園STEAM教育

3. 昭島市の人口問題

下の図の2020年6月1日人口総数に対する割合を表している⁽¹⁾。周囲の八王子市や立川市、日野市に比べ、昭島市の人口は東京都の人口1%に満たない。このデータに基づき、昭島市の人口を立川、日野を越える一助になりたいと思い、企画実行することにした。

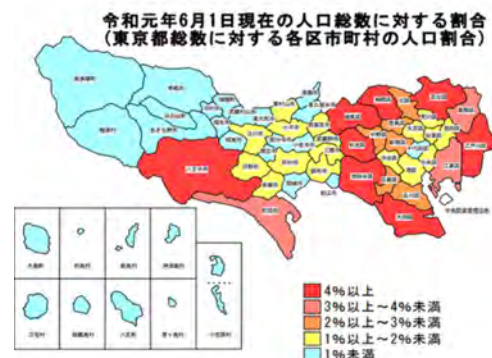


図2 東京都人口総数に対する割合

4. 昭島市の魅力

私たちは昭島市とはどのような場所なのか知るために昭島駅周辺に2021年10月中旬、調査に訪れた。各所を巡り、そこに暮らす人たちの話を聞くことで、昭島市の魅力を数多く知ることができた。

例を挙げると、水が有名で100%の地下水を市内四カ所で自由に水汲みができる給水スポットが設置されている。これには使い捨てにされるペットボトルを減らし、SDGsつなげる狙いもある。

また昭島市は太古の昔、海中に沈んでいたようで、昭和36年に鯨の骨が発掘された。ことからアキシマクジラが有名になりアキシマエンシスという公共施設でアキシマクジラについて知ることができる。

このような情報をもっと多くの人に知ってもらうために、班員で議論を重ねた結果SNSを活用し、宣伝することが最も効果的であろうという意見にまとまった。



図3 昭島駅にある給水スポット



図4 アキシマエンシス

5. SNS 活動について

2021年11月にInstagramを始めとしたSNSのアカウントを複数作成し、昭島市のいいところについて投稿を始めた。これらを通して、昭島市の魅力を発信し続けたところ、Instagramのフォロワー数は1000人に達し、1つの投稿には100いいねを越える反響のものもあった。



図5 Instagramの投稿

6. アイコン・バッチ作成

昭島市のキャラクターを利用するためには使用承認申請が必要である。私たちは所定の書式に従い、申請。昭島市から正式に公式キャラクターの使用許可を得ることができた。それらを使い SNS に載せるアイコンを Adobe Express で独自に作成した。またキャラクターを使った昭島市を応援する 缶バッチも独自に制作した。加えて、他クラスの昭島市の人口問題について同様の活動を行なっているチームとも共同をして、2種類の昭島市のオリジナルバッチを作成した。



図6 使用承認申請書



図7 使用承認申請書



図8 アイコンで使用した Adobe Express



図9 バッチ作成

7. ポスター作成

SNSだけではなく、さらに昭島市の魅力を知ってもらうため、昭島市の魅力が詰まったポスターを2枚Adobe ExpressとApple製Pagesを使用し作成した。これらポスターは昭島駅のホームやコンビニ等においてお願いして貼らせてもらった。

この活動の反省点とすれば、連絡先をポスターに記入しておらず、反響やその後の活動への展開に結びつけることができなかつたということだ。今後、このような機会があれば、その反省を活かし、反響から次の活動へと展開されるような工夫をしていきたい。



図10 ポスター作成

8. ユネスコ国際シンポジウム

12月下旬、私たちはユネスコが開催する国際シンポジウムに参加することになった。

『無形文化遺産の貢献〜より良い学びと持続可能なまちづくりに向けて〜』公開シンポジウムにオンラインで参加した。この会はSDGs 4（質の高い教育）、SDGs 11（すみ続けられるまちづくり）がテーマとされており、それに倣って昭島市の魅力を発信した。具体的には、昭島市に無形文化財について、昭島市の古くから伝わる榊祭りと中神の獅子舞について紹介した。会にはバングラディッシュ、インドネシア、キルギスの有識者が参加しており、そこに参加したNGOとも無形文化財について意見交換し、世界の無形文化財についても深く知ることができた貴重な体験となった。



図11 ユネスコに参加した時のプレゼンの様子

9. 考察

私たちは一年間、STEAMの授業を通して『どうすれば沢山の方々に昭島市の魅力が伝わるのか』『どういう工夫をすれば色々な方の目に止まるものができるのか』など考え続けた。これらの体験を通して工夫をするということの重要さなど数多くのことを学ぶことが出来た。その素晴らしい経験が無駄にせず、今後の学習活動に生かしていきたい。

10. まとめ

ここでは聖徳学園のSTEAM授業で取り組んだ、地域貢献プロジェクト内での自身らの活動について紹介した。私たちの班は昭島市の人口問題に焦点を当て、1年間かけて今の自分らにでもできることをテーマに活動を進めた。その過程の中で、多くの学びがあり、今後の学習活動にも活かせるに思えた。私たちは昭島市の魅力について今後も全世界に発信し続け、世界中の人たちに昭島市の魅力を感じてもらえるよう活動を続けていきたい。

参考文献

- (1) INVEST ONLINE:”東京都23区人口ランキングTOP5【2019年6月】”<https://invest-online.jp/news/tokyo-population-201906-14897/>, (2022年6月30日閲覧).